



# 東村山市子ども読書活動推進計画

(平成17年度～21年度)

進捗状況報告⑦『きょういく東村山』より

## 東村山子ども読書連絡会



### 子どもの読書にかかわる方たち

市内には、子どもの読書にかかわる方がたくさんいらっしゃいます。

市立図書館ができる以前から、文庫活動やおはなし会などの活動が地域で盛んに行われてきました。長年子どもの読書を支えてきた方がいる一方で、ここ数年はボランティアとして、学校図書館で本の整備をしたり、乳幼児健診の会場で赤ちゃんに読み聞かせをしてくださったりする方も増えています。

また、ストーリーテリング（昔話などの語り）や紙芝居のサークルもあれば、小学校の土曜講座などで活躍しているグループもあります。

活動の場や内容は様々ですが、どなたも子どもたちに本を楽しんでほしい、読書環境をよくしたいという気持ちで活動されています。

### 東村山子ども読書連絡会

そのような方たちを結び付け、活動をサポートするために立ち上げたのが、「東村山子ども読書連絡会」です。平成14年から年2回ずつ、中央図書館で定例会を開いています。

図書館から子どもの読書に関する市の施策についての報告、図書館事業の案内や本の紹介を行なった後は、参加者相互の情報交換の時間です。

### 楽しい交流タイム

5月の定例会では、今年40周年を迎えた美住町の地域文庫「くめがわ電車図書館」の歩みについてお話いただきました。電車の車体を利用した図書館ということで、その外観が注目されることが多いのですが、『でんしゃ』を支えてきた方々の

思いを聞き、市民活動の原点に触れる機会となりました。

やはり古くからの地域文庫「多摩湖町児童図書館」では、アフガニスタンやミャンマーから見学のお客様をお迎えしたという報告もありました。地域の大人も子どももたくさん集まり、手作りの絵本や紙芝居を演じて楽しく過ごしたそうです。

読み聞かせボランティアの方からは、小学校での活動報告、「学校図書館ボランティアの会」からは、勉強会のお誘いなどがあり、和気あいあいと語るうちに密度の濃い2時間が過ぎました。

### 連絡会にお越しく下さい

子どもと本が出会うには、楽しい本のある環境や、本を手渡す人の存在が必要です。

今後も、活動する方同士の交流を深め、更に行政と市民が手を携えながら、子どもの読書活動推進を図るために、この会を充実させていきたいと考えています。

活動中の方、関心のある方は、どうぞお越しください。

『きょういく東村山』第53号より

平成19年9月20日号

編集・発行 東村山市教育委員会